

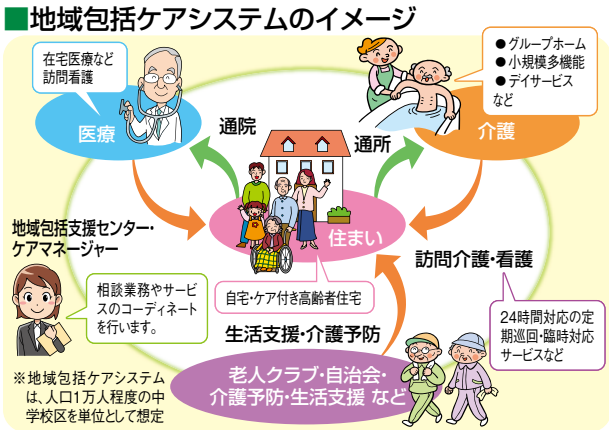
1

高齢者がいつまでも地域で元気に過ごすために  
地域包括ケアシステム&高齢者の見守り

Old-age Welfare

**団塊**の世代が75歳以上になる2025年には、人口の6人に1人が75歳以上になるといわれています。

75歳以上になると医療や介護の必要性が急速に高まってきます。市では、地域で自立した生活を送ることができるよう、医療と介護の連携をはじめ、地域包括ケアシステムの構築にも取り組んでいます。



75歳以上になると医療や介護の必要性が急速に高まってきます。市では、地域で自立した生活を送ることができるよう、医療と介護の連携をはじめ、地域包括ケアシステムの構築にも取り組んでいます。



- 介護・認知症予防教室の開催
- 出前講座(認知症、地域包括ケア)
- 住まいの充実(リフォーム補助)
- 家族介護支援教室の開催
- 医療と介護が連携できる体制づくりを行います。
- 市では、次の事業により、地域での体制づくりを行っています。

※「地域包括ケアシステム」高齢で医療や介護などが必要な状態になっても、適切なサービスを利用することによって、最期まで地域ですこすこすごうができるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいが切れ目なく一体的に提供されるシステム。

**認知症**などで行方不明の捜索を想定した模擬訓練を、11月5日(水)、古田地区で実施しました。

訓練には、自治会や民生委員、老人会、介護保険関係事業所のほか、田原警察署員や消防署員など約40人が参加。家族が行方不明になった場合の捜索届の提出から、現地対策本部が設置され、参加者が地域に出て徘徊(はいかい)者役に声をかけた



めたりするなどの、発見までの手順を確認しました。また、9月から開始した徘徊高齢者見守りSOSネットワークの説明やネットワークを使った情報伝達の確認を行いました。市では、行方不明になった高齢者などの早期発見を図る目的で、平成24年5月から「徘徊高齢者等事前登録制度」を開始し、63名(11月1日現在)

在)が登録しています。登録に関する相談は、お気軽に高齢福祉課へお寄せください。

※「徘徊高齢者見守りSOSネットワーク」徘徊高齢者の捜索協力や日常業務における見守りなどを役割とし、福祉関係事業所やライフライン事業者、公共交通、金融機関、新聞販売店など、現在47の協力機関が登録。緊急時に、FAXで情報を送信し、捜索協力を依頼。

今後、高齢者が住みなれた地域で、安心して暮らせる環境づくりをしていきます。

▼高齢福祉課 ☎23局 4654

◆**田原市地域医療・介護を考える講演会**  
～住み慣れた地域で最期まで過ごすために～

市の医療・介護の現状、地域包括ケアの取り組み、そして、どのように終末期を迎えるかを考えるための講演会です。

講師 ●佐藤健氏(国立病院機構 豊橋医療センター緩和ケア部長)

日時 ●平成27年1月18日(日)午後1時30分～

場所 ●赤羽根文化会館 文化ホール

定員 ●350名(先着順)

申し込み ●平成27年1月8日(木)までに電話にて

▶高齢福祉課 ☎23局 4654